

2011年5月

次世代タッチセンサーパネル製造設備の新設について

住友化学は、次世代タイプのタッチセンサーパネル製造設備を、当社電子材料事業の韓国拠点である東友ファインケムに設置することを決定し、このほど建設工事に着手いたしました。投資規模は、第一フェーズとして約2,500億 Won、日本円で約190億円を予定しています。

タッチセンサーパネルは、最近脚光を浴びているスマートフォンやタブレットPCなどにおいて、表示性能を左右する重要な部材です。今後は既存の用途に加えて、電子黒板、教育用スレート端末、ナビゲーション表示材などのいろいろな用途に幅広く採用されることが予想されています。

また、今回設備を新設するタッチセンサーパネルは、映像の美しさや操作の簡便性、省エネ性能、軽さなどの特徴が市場で高い評価を受けている有機ELパネルを対象とした次世代タイプとしています。

同タイプのタッチセンサーパネルの製造については、液晶表示材料で使用されるカラーフィルターと共通するプロセスがあり、当社がこれまで長年にわたって蓄積してきたカラーフィルター製造に関するノウハウを有効に活用することが可能です。さらに、主要納入先となる予定の三星モバイルディスプレイ社は、中小型タイプの低分子有機EL表示デバイスで世界の先頭を走っており、同社と協力することで、高水準の製造技術の確立を目指しております。

一方で、住友化学は、大型TV等の表示材料として期待されている高分子有機EL材料の開発にも注力しており、将来的には、大型の有機EL表示材料向けタッチセンサーパネルの展開も視野に入れて本事業の拡大を目指してまいります。

<今回投資額の概要>

- | | |
|---------|------------------------------|
| 1. 製品 | 次世代タッチセンサーパネル |
| 2. 立地 | 大韓民国 平沢市 東友ファインケム工場内 |
| 3. 投資額 | 第一フェーズとして2,500億 Won (約190億円) |
| 4. 能力 | 公表せず |
| 5. 完成時期 | 2011年4Q 量産開始 2012年1Q |

以上